







毎日が忘れられない思い出になりました

工学部 機械機能工学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アメリカ UCI

僕は普段、洋画や洋楽などを普段からよく見たり聞いたりしていて、いつか海外に行ってそれらをじかに経験したいと思い今回の語学研修に参加しました。僕は普段英語を話す事が上手くなく人前で話すのが苦手だったのでアメリカに来た初日はとても緊張しました。しかしホストファミリーに話したいことを伝えようと簡単な英語で話してみると案外通じてそれがきっかけで徐々にではありますが英語が上達していくのを実感できました。今回行ったホームステイ先がアーバインだったため治安が非常によくアジア人が多いため家の近くのスーパーにはカップ麺や日本のお菓子などが置いてありました。学校は午前中にspeaking/listeningとAmerican Cultureという授業があり英語でプレゼンを主に行いました。先生がとてもフレンドリーなので安心して質問ができました。そして生徒は勿論、芝浦だけでなく様々な国や学校から来ていました。そして授業終わりに二日に一回CP meetingという現地の学生であるConvention Partner一人と生徒4人程度で構成されたグループで二時間ほど自由時間が与えられそこでカードゲームやボードゲームやショッピングモールに行ったりもしました。カードゲームやボードゲームは最初ルールを覚えるのに苦労したのですが覚えると本当に楽しくとても盛り上がりました。今回の語学研修では日本では経験できない事を沢山経験できるのでおすすめです。



学校内に限らず街中の人にも積極的に話しかける事で英語力がアップしました！

建築学部建築学科 3年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

スタディツアー

その他

■公開可否：可

派遣先：アメリカ・UCI

以前からアメリカに留学してみたいと思っていたのですが、莫大な費用や期間を確保しないといけないこともあり挑戦することをためらっていました。そんな中、友人が春の同じプログラムを申し込んでいてとても有意義だったと言っていたので参加することを決意しました。

滞在中の主な時間割は午前中に2コマの授業を受け、週に二回授業とは別で2時間課外活動のようなものをしました。到着した初日はホストマザーが何と言っているか全く聞き取れず、ここから1か月間大丈夫かなと不安でいっぱいでした。それでも3日目には耳も慣れてきて生活していくうえで不安を感じたことはなかったです。色んな人種、文化を持つ人がいてとても刺激的でした！



英語が身近にあることで学んだことをすぐ実践出来て、モチベーションが上がりました。

工学部 先進機械コース 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アメリカ・UCI

海外の景色や文化、雰囲気などを自分の目、肌で感じたい、そして英語を学習することで世界で何が起きているのかなどを英語で理解し、いろいろな人とコミュニケーションをとってみたいという思いでこの語学研修に参加しようと思いました。UCI4週間のプログラムは1か月間という時間を通してUCIで英語やアメリカの文化を学び、オプションツアーではカリフォルニアの名所に行くことが出来、私にとってはとても参加しがいのある内容でした。

滞在中のスケジュールとしては、平日は午前中に80分2コマの授業を受講し午後にはCPミーティングというUCIに今通っている学生との交流だったりUCIのスタッフと行くアクティビティなどに参加しました。休日はオプションツアーに行ったりホストファミリーとの交流を行ったりしました。このプログラムには日本の他大学やいろいろな国からの生徒が参加しておりほとんどのスケジュールをともに行います。よって仲が良くなるのと同時に授業などでともにプレゼンテーションをやったり課題を解決するため絆が生まれます。今まで知らなかった人たちと短期間でともに協力するという事はなかなか経験できることではないし人生でみてもかなり強い経験値となると思います。

私はこのプログラムの最終日に心からあつという間だったと思ったと同時に毎日がとても濃く充実していたなとも思いました。このプログラムで得た経験は国際的な活躍のための能力だけでなく、日常生活や学校などの日本での活躍にも生かされるものとなったと思っています。この先もこの貴重な経験を活かし活躍できるよう過ごしていきたいです。



カリフォルニアのいろいろな場所に行き文化の違いなどを実感することができました。

工学部 基幹機械コース 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：UCI4W

私がカリフォルニア州で留学を決意した背景には、英語の重要性を感じながらも、日常生活の中で十分な学習時間を確保できていなかったという悩みがありました。そこで、短期集中で英語力を伸ばし、学習を軌道に乗せたいと考え、留学という一大決断を下しました。カリフォルニアは英語を学ぶための理想的な環境であり、多様な文化や人々との出会いも期待しての選択でした。

滞在中は、毎日英語を使う環境に身を置くことで、自分の英語力がどんどん向上していくのを実感しました。特に、現地での授業ではディスカッションやプレゼンテーションが頻繁に行われ、ただ英語を学ぶだけでなく、自分の意見をしっかりと伝える力を養うことができました。また、クラスメートや現地の学生とのプロジェクトを通じて、異なるバックグラウンドを持つ人々と協力しながら物事を進めるスキルも学びました。これは、国際的な感覚を磨く上で非常に有益な経験でした。

さらに、現地の学生との交流は、文化的な違いを理解する良い機会となり、学問的な議論や将来のキャリアについて話し合う中で、私のモチベーションが大いに高まりました。この語学研修で感じたように、異文化の学生と専門的な知識や未来の展望を共有することで、自分の学びへの姿勢がより積極的になり、帰国後の学業にも良い影響を与えました。

短期プログラムでの成果は、数字で表すことができるもの（たとえばTOEICスコアの向上）だけでなく、異文化の中で自分を表現する力や、国際的なプロジェクトを遂行するスキルなど、数値では測れない大きな学びがありました。この経験は、私の人生において非常に価値のあるものとなり、将来的にさらにグローバルな場で活躍するための土台を築いてくれたと感じています。

留学後も、今回得た経験を基に、さらなる上位プログラムへの参加や、国際的なプロジェクトに挑戦することで、グローバルな視野を広げ、専門分野においても深い知識を追求していきたいと考えています。

留学をとおして、今までよりも一層英語を勉強するモチベーションがあがりました。

工学部機械機能工学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

スタディツアー

その他

■公開可否

可

不可

派遣先: アメリカ・UCI

アメリカ留学を通じて得た経験や学びは、私にとって非常に貴重なものでした。異なる文化背景を持つ人々と交流し、多様な価値観に触れることで、視野が大きく広がりました。特に印象深かったのは、文化的な違いに直面した時の適応力です。アメリカは多民族国家であり、様々な文化が共存しています。そのため、自分の常識が通じないこともしばしばありました。しかし、その過程で自分の価値観を相対化し、他者の視点を理解する能力が身に付きました。これは、日本にはなかなか経験できないことだと思います。

また、コミュニケーション能力の向上も大きな収穫でした。アメリカの教育システムでは、学生に対して積極的な発言や参加が求められます。ディスカッションやプレゼンテーションの機会が多く、自分の意見をしっかりと持ち、それを明確に伝えることが重要です。最初は戸惑いもありましたが、次第に自分の考えを論理的に組み立て、異なる視点を持つ人々と対話する力が養われました。このスキルは、英語力だけでなく、グローバルな環境で働く上で不可欠な能力です。

今後、アメリカ留学を考えている人へのメッセージとしては、まず挑戦を恐れないことが大切だと思います。留学には、慣れない環境や言語の壁、学業のプレッシャーなど、多くの挑戦が伴いますが、それらを乗り越えることで得られる成長は非常に大きいです。失敗や困難は、成長のためのステップと捉え、前向きに取り組む姿勢が重要です。

そして、海外に行ったから英語を話す機会が勝手に増えると思わず、自分から他の学生や、ホストファミリーに話しかけることで、より一層英語を話す機会がふえるので、自分から行動することが重要です。

最後に、柔軟な心を持つことの重要性も強調したいです。留学生活では、予想外の出来事や文化的な違いに直面することが多々ありますが、そうした状況に対して柔軟に対応する力が求められます。自分の価値観ややり方に固執せず、他者の考えや新しい方法を受け入れることで、より深い学びが得られるでしょう。アメリカ留学は、単に学問を学ぶだけでなく、自己成長や人間関係の構築、そして新しい価値観を得る素晴らしい機会です。



異文化に触れながら語学力向上できました！

工学部 電気・電子工学課程
電気・ロボット工学コース 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アメリカ・UCI

高校生の頃から留学に行きたい気持ちにはありましたが中々時間が取れずにいました。そしてやっとアメリカに留学することができました。一か月という長い期間は私にとってとても貴重な思い出になりました。

平日の午前中に二時間だけ授業を受けた後はフリーですが、一週間に二回程度現地のUCIの学生と二時間コミュニケーションをとる授業があります。授業後は留学プログラムで出会った同じ大学の生徒や台湾、イタリアなど様々な国からきている学生と遊びに行きました。留学先で様々な国の生徒と英語を使ってコミュニケーションをとることで英語が聞き取れるようになったり留学前よりも喋れるようになったと思います。

ホームステイ先のご家族もとても親切な方で多くのお話をしました。この一か月は毎日楽しくて夢のような時間でした。留学行くのを悩んでいる方がいたらとりあえずこのucilに参加してみるのを強くおすすめします。

アルバイト先は海外のお客様が多いので日本に帰ってきてからも留学の経験を生かすことができます。今後は、語学研修で培った力をベースに研究室配属型などの参加を考えています。



語学勉強だけでなくホームステイやアクティビティを通して沢山の良い経験ができました！

システム理工学部 生命科学科 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

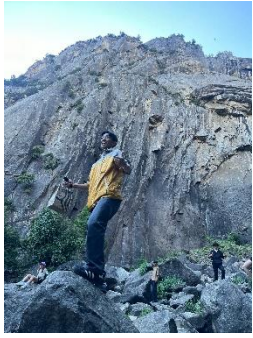
■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： UCI4週間

私が語学研修参加を決めた理由は、高校生の時から参加してみたいと思っていたのともっと行動力、挑戦力をつけ、将来に対して視野を広げたいと思ったからです。このUCI4週間プログラムは、speaking/listeningの授業だけでなく、日本とアメリカの文化の違いを学ぶ授業やホームステイを通して現地の人と生活するなど、沢山の貴重な経験をすることができました。授業後はUCI学生とのミーティングや友達とショッピング、遊園地などに出かけ、休日にはディズニーやヨセミテ国立公園、ユニバーサル、野球観戦などに出かけアメリカ観光も楽しみました！

私がこの4週間を通して、アメリカは日本と違ってyes/noははっきり答えること、自分自身の意見を述べることを求められますが、どのように答えてもその意見を尊重してくれる温かさがありました。正直、英語面での成長はそこまで感じることはできませんでしたが、もっと話せるようになりたいとモチベーションが上がり、学年や大学を問わず仲間ができました！もし参加を悩んでいる人がいたら、勇気を出して一歩踏み出してみてください！素敵な出会いや学びがあります！





様々な人と話すことでリスニング力が向上しました。そして、人に声をかけることに抵抗がなくなりました。

デザイン学部 デザイン工学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アメリカ・UCI

私は、将来海外に住みたいという漠然とした夢がありました。そのきっかけに少しでもなれば良いと思い、語学研修に参加することにしました。どのプログラムに参加するかとても悩みました。まずh、留学先の地域です。アジアorアメリカ。本場の英語に触れたかったため、アメリカにしました。次に、期間です。2週間or4週間。4週間のほうが英語力を向上させることができると思い、4週間への参加を決めました。最後に、滞在場所です。ホテル、寮orホストファミリー。様々な不安がありましたが、ホストファミリーへの滞在のほうが得れるものが多いと思い、ホストファミリーにしました。結果、自分の選択が正解だったといえるくらい充実した1か月を過ごすことができました。

アーバインには様々な国籍の人が住んでいます。留学生も多国籍でした。よって、普段の生活の中で様々な言語を耳にします。ホストファミリーや大学の授業などを通して、異文化を深く理解することができました。国によってタブーとされるものが異なったり、テーブルマナーが異なったり、自分の文化との違いに面白さを感じました。多国籍の人と接するとき、相手の文化について少しでも知っていたほうがお互いを理解しやすくなると感じました。

留学が終わってから、英語学習への意欲がより一層高まりました。最近はYouTubeの英語の動画を使ってディクテーションやシャドーイングをしています。これらは、海外の人ともっとコミュニケーションがとりたい、というモチベーションからきていると思います。



とにかく優しくそうな人に声をかけて
英語を使いまくる！！

デザイン工学部 デザイン工学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否

:

可

・ 不可

派遣先：アメリカ・カリフォルニア・UCI

最初は大学生だし海外行きたいなぐらいの感覚で説明会に行きました。

まあ行くならアメリカでしょと円安がすごい中、親に頭を下げて語学研修に行かせてもらい、いざアメリカどんなもんじゃいと行ってみたらもうeverything is big and wonderful（すべてが大きくて素晴らしい！）食べ物はでかいし、向こうの人はみんなフレンドリーだし、1から100まですべてが新しくとっても新鮮でした。

一つ例に挙げるとバス。毎朝バスでホストファミリーの家から学校へ向かうのですが、毎朝あるおじさんが私よりも早くバスに乗っていて降りるときに必ずこういうんです Have a good day everyone！！

実はこれに感動して後日話しかけてみたんですがめちゃくちゃいい人で毎朝バスの中で話すバス友になってました。

大学生のうちしかこんな長期の海外はいけないと思うので是非皆さんもいってみてください！！



親を説得して、念願のアメリカ留学に行ってきました。アメリカ人の人との接し方や、英語でのコミュニケーションを学び、英会話に自信がつけました！

デザイン工学部 学科 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：アメリカ・UCI

①なぜこのプログラムに参加しようと思ったのか

私は海外旅行がとても好きで、海外に興味がありました。また、母親がアメリカに6年間留学していたこともあり、その影響でアメリカ本土に行きたいと高校のころから思っていました。留学に行くなら、アメリカのカリフォルニア大学に行きたいと最初から考えていました。なぜなら、カリフォルニア大学は安全で、留学生の受け入れが多く、有名な大学だから過ごしやすく、流gカウに最適だからです。本当は1年留学したかったのですが、1年留学のカリフォルニア大学に行けるプログラムが3・4年生対象の交換留学しかなく、3・4年は就活など新しい生活が始まり、予測がつかなかったため、1年生のうちに参加できる語学研修を選びました。TOEIC: 410

②実際のプログラム中の様子

平日月～金まで授業が2コマあり、午前で終わります。授業はすべて英語で「speaking & listenning」と「American culture」という授業がありました。Speaking & listenningという授業では、教科書にそって、学びました。2回ほどPowerPointを作って、全部英文を暗記して発表するというものもありました。American cultureという授業ではアメリカの授業を学んだあとに、自分たちの文化も紹介する形で、ほかの国の留学生の文化も知ることができました。午後は自由なので友達と遊んでました。平日の週2回13:00～15:00で「meeting」がありました。meetingとは、conversation partnerというUCIの生徒1人につき留学生4人のグループでボードゲームをしたり、スポーツをしたり、ショッピングに行ったりするプログラムです。土日はまる1日休みなので、ツアーに参加したり、自分たちでどこに行くか計画を立てて行っていました。

③プログラムへの参加が自分にどう影響を与えたか

自分のなかで勝手に英語は勉強するものと思っていましたが、留学してみて英語はコミュニケーションの道具に過ぎないという認識が変わりました。英語で会話することの楽しさを学びました。もっと英語で会話をして友達を作ったり、日本で困っている旅行者の手助けをしたいと思うようになりました。また、英語は日常会話くらいならそんなに難しくないため、中学生の英語レベルでも全然問題ないです。



とにかく行ってみるべし！

デザイン工学部 デザイン工学科 1年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：アメリカ・UCI

私は小さい頃からよく海外旅行に行っていて、それがとても好きでした。ですが、自分以外の家族はみんなある程度英語を喋ることが出来て、現地で外国人の店員さんの人達と自然に会話出来る事にとても憧れを抱いていました。そのような憧れがあった事で、このプログラムへの参加を決めました。

滞在期間中は、毎日午前中に授業を受け、午後は基本的に自由でした。(週に2回現地の大学生を交えて交流するというものもありました。)休日は、大学主催の色々なツアーに参加しました。特に印象に残っているのは、カリフォルニアディズニーランドです。日本のものとはスケールもある物も何もかも違い、本当に感動しました。そして、もうひとつは、ドジャースの試合観戦です。テレビの中の存在だったあの大谷選手のホームランを生で見ることができとても感動し、海外でこんなに輝いている日本人がいるということに圧倒されました。

行く前は不安でいっぱいだった留学も、実際に行ってみるととても楽しく、4週間という時間はあまりにも早く、一瞬で過ぎて行きました。現地の方々と交流するのはとても楽しく、日本人が観光客の方に丁寧に接するのと同じように、現地の方々は私たちにとても親切にして下さり、たくさんの友人も出来ました。最初は、4週間という期間がとても長いものを感じ、2週間のプログラムの方で良かったのでは無いかと感じていましたが、留学を体験し帰ってきた今、4週間行ってよかったと心から思います。もし、あなたが2週間と4週間で迷っているのであれば、絶対に4週間を勧めます！



英語に囲まれた環境で英語を
身につけられます

工学部 材料工学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■ 公開可否 : 可 ・ 不可

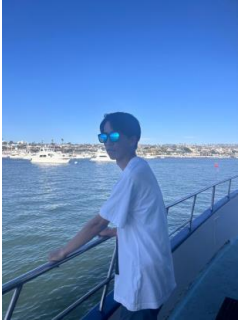
派遣先: アメリカUCI

昨年マレーシアに2週間の語学研修に参加し、更なる英語力向上のために1か月のUCIのコースを申し込みました。自身の英語力に見合った授業が受けられる点とホームステイという点で「こちらに参加しました。

授業は基礎的な英語力からディスカッション、プレゼンテーションさらには現地の生徒とのアクティビティもあり、かなり英語の触れ合うことが出来ました。アクティビティでは一緒にスポーツしたりランチを食べたり、楽しく英語に触れることが出来ました。他大学も参加しているので、他校の日本人、外国人とも交流できたのも良かったです。

ホームステイでは日本人のいない中、英語のみでの生活でかなりリスニング力は向上したと思います。また放課後には、ビーチやアウトレットなど様々な場所にアクセスしやくよかったと思います。またカリフォルニア州で治安もよく、安全に過ごすことが出来ました。

リスニング力とスピーキング力の向上そして現地の人と話せる機会がとても多いプログラムだと思います。



毎週ある現地の学生とのミーティングに参加し、英語力やコミュニケーション能力が向上しました。

工学部 機械機能工学科 2年

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム


■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： アメリカ・California

この留学に行く前は、海外に行くことに不安ばかりでした。特に英語でのコミュニケーションを心配していました。ホストファミリーに質問したり、話を聞いたりするときも、しっかりコミュニケーションをとれるか不安でした。しかし実際に過ごしてみると想像以上にうまく話せました。話してみると確かに単語や文法に困ることばかりでしたが、大事なのは積極性なのだと感じました。今回の留学では自分が納得できる程積極的には話せていませんでしたが、かなり成長できました。カリフォルニアでの生活は本当に新しいことばかりでした。特にカリフォルニアの人は親切で、かつ元気な人が多く、かなり過ごしやすかったです。過ごしやすい気候で街並みもきれいでいい留学先でした。

ディズニーランドやユニバーサルスタジオハリウッド、ドジャーススタジアムなどに行きましたが、とても楽しかったです。そこで聞いた英語はうまく聞き取れず、悔しかったです。聞き取れるように勉強しようと思います。

この留学では英語やカリフォルニアの文化などたくさんを学びましたが、一番は海外に行くことに対しての不安が無くなったことが大きいです。これを機に海外に行くことにより興味が湧きました。学生の内にもっとたくさんすることに挑戦したいです。



現地でしか学べない
英語がある！

工学部 先進機械コース 1年

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

公開可否：可 アメリカ・UCI

高校までの英語では、いつも30～40点を取っていたので、自分の英語能力を向上させたいと思い、今回の語学研修に参加することを決めました。アメリカを選んだ理由は、今回のプログラムで唯一ホームステイになっていたためです。寮やホテルだと、同部屋の人と日本語で話してしまったり、日常の文化を知ることができなかつたりすると思ったので、ホームステイを選びました。値段は高めでしたが、両親と話し合い、渡航を決意しました。

現地では、平日午前9時から80分授業が2コマありました。また、週に2日放課後に留学生4人と現地の学生1人でグループになって、スポーツをしたり買い物に行ったりバーベキューをしたりする活動がありました。ほかにも様々なオプションツアーがあり、ディズニーランドや、ユニバーサルスタジオ、ハンティントンビーチなどに行くことができました。その際には、現地の学生スタッフが案内をしてくれるので、少人数のプランを担当してくれた学生とは友達になることもできました。

今回のプログラムは終わってみるとあっという間の4週間でした。初めは友達が一人もおらず、びくびくしていましたが、授業やオプションツアーなどを通して徐々に友達が増えていきました。4週間のツアー中はほとんど毎日顔を合わせるので、帰ってからも連絡を取り続けるような仲になりました。今回のツアーを通して、「できることは全てやる」をモットーにしていたので、やりたいことをやりつくすことができました。また、最後のセレモニーでは3分ほどのスピーチも務めました。とてつもなく緊張しましたが、一生忘れられない思い出になりました。なので、これからも迷ったことはやってみる精神で様々な事柄に取り組んでいきます。